

NPO法人ウェルジー



寄付のお願い

難民の若者たちへの未来への投資になります

「能力も経験もやる気もあるのに、その力が社会の中で生かされていない難民の方々の状況を変える」ために、お力を貸していただけませんか?「TOKIWA」の運営費や、難民の方々の仕事を探すための交通費など、皆様からのご寄付が必要です。

あなたの寄付が、難民の若者たちへの未来への投資になります。祖国の未来を担う難民の若者たちのために、皆様のご支援を、どうぞ宜しくお願ひいたします。詳細はこちらからご覧ください。

企業の方々へ

様々な強みが活ける、多様性に富んだ組織を作りませんか?

- グローバルに活躍でき、情熱・胆力のある若手人材を探している
- 人や社会のニーズを起点に、柔軟な思考とユニークな発想がほしい
- 今後さまざまな人材の獲得に向けて、ダイバーシティ経営を進めたい

そんな想いで働かれている企業のみなさま、新しい人材活用・事業発展の可能性を広げる「難民人材」を検討しませんか?

ご興味のある方、こちらのQRコードからご連絡ください。

寄付は、
クレジットカードのみ
を受付けております。
ご了承のほどよろしく
お願ひいたします。



難民雇用について
のご連絡フォーム



主な活動実績

- Forbes Asia 主催 30 Under 30(次代を担う 30 歳未満の 30 人) のソーシャルアントレプレナー部門で選出
- NPO 法人 ETIC 社会起業家イニシアチブ採択
- INCO 主催 Woman entrepreneur of the year Award (女性起業家アワード) 2018 グランプリ
- Forbes JAPAN 主催 30under30(日本を変える 30 歳未満の 30 人) に代表渡部がソーシャルアントレプレナー部門で選出
- 青山スタートアップアクセラレーションセンター第 3 期採択
- 東京都教育委員会助成金・チャレンジアシストプログラム採択
- NPO 法人 ETIC ・ Makers University 一期生
- NPO 法人 ETIC ・ SUSANOO 第 4 期採択
- UNHCR 世界難民の日イベント(東京) 登壇
- 楽天株式会社主催「 Rakuten Social Accelerator 」第 2 期採択

メディア掲載

- HUFFPOST(2019.4/8) ・ Forbes Japan(2018.8/22)
- PRESIDENT(2019.7/12) ・ Japan Times(2018.5/18)
- 朝日新聞(2019.4/3) ・ THE BIG ISSUE JAPAN(2019.2/15)
- 日経新聞(2019.3/29) ・ TBS テレビ(2018.8/26)
- 中日新聞(2018.10/12) ・ Abema TV (2017.6/21)

連絡先

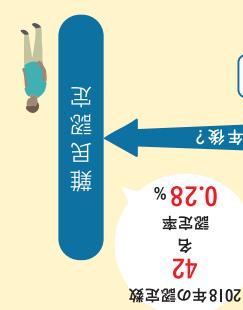
- ✉ info@welgee.jp
☎ 080-3584-1991
✉ NPO法人 WELgee
✉ @WELgee_Japan
✉ http://welgee.jp/



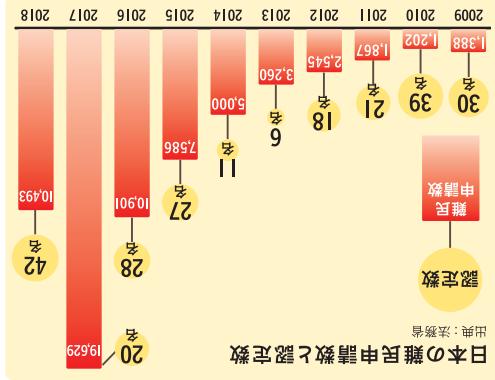
WELgeeでは、インターンシップ
やボランティア、プロボノとして、
自分の好きなことや特技を活かしながら、一緒に事業を作ってゆく仲間を募集しています。

WELgee
NPO法人ウェルジー
WELCOME + refugee

(※1) 保證書を提出する場合申請者(被申請者)の既往歴・職歴等が該当性があることを確認するための書類



日本における難民申請件数と認定件数



WELEXでは、政治的的理由による難民申請者(被申請者)の属性を調査するため、150名の難民申請者(被申請者)を対象に、複数回実施した調査結果をもとに、以下の通りの結果を得た。

年齢層別では、20歳未満の申請者は約 30% で最も多く、21歳以上は約 70% を占めています。性別では、女性が約 55% で、男性が約 45% です。また、性別による差異はほとんどないことが分かりました。性別による差異はほとんどないことが分かりました。

日本人の方々がどのように

日本で難民申請をするか?

難民って何?日本で何を?

“難民(外国人)”と呼ばれる被申請者の立場、二種類があります。

WELgee

WELgee = WELCOME+refugee

～難民の人々も歓迎できる社会に～

VISION

自らの境遇にかかわらず、ともに未来を築ける社会

MISSION

志を発掘しつながりを広げ、未来をデザインできる仕掛けをつくる



PROJECT

WELgeeは難民「支援」ではなく、難民とともに3つの活動をしています。

難民たちが、「ともに語り」日本社会とつながりを作る **Talk WITH**。次のステップを模索するために「ともに暮らす」シェアハウス、**Live WITH**。
最終的に、彼らが日本人と「ともに働き」、日本社会で活躍する機会を作る、**Work WITH** の3つの活動です。

voice 01



人との繋がりがない……。
日本人と関わるチャンスがない。

ともに語る

Talk WITH

「難民と出会い、語る」月に一度の対話型セッション（WELgee サロン）や、学校への出張授業、企業や地域団体への講演などを通し、難民の方々と気軽に関わることのできる機会を作っています。これらの事業を通じて、難民を社会の中で受け入れられる素地づくりを行います。「難民とともに」というキーワードを大切にし、コンテンツ作りや運営を協働して行っています。

voice 02



自分に合う職業が見つからない。
自分の力を活かせる職場がない。

ともに働く

Work WITH

意欲あふれる難民の若者に対たちが、「人材」として活躍できるように、彼らと伴走します。

また、逆境を乗り越え生きてきた難民の講師たちから多様性やリーダーシップについて学ぶ企業研修、難民が生徒としてIT技術を学び、プログラマーとしての就労を目指す事業も行っています。

voice 03



今の生活から抜け出して、目標に向かって全力で努力したい。

ともに暮らす

Live WITH

難民という同じ境遇にいる人たちと切磋琢磨しながら、日本語などのスキルを身につけ、就職に向けて準備をするシェアハウス、「TOKIWA(トキワ)」をJELA(一般社団法人日本福音ルーテル社団)と協働して運営しています。もう1つのシェアハウス、「千葉ハウス」では、地域の方々と難民が交流を深めて「顔の見える関係性」を築き、お互いが安心して暮らせる場作りを目指しています。

WELgeeサロン

日本に住む人々が難民の方々と出会い、自らの境遇にとらわれず「個人として」対話をできる場を作っています。

講演・出張授業

難民としての経験をもつ講師と、WELgeeのスタッフが、真の「国際理解教育」を届けます。

過去の公演

- 日本にいる難民の現状と私たちにできること（津田塾大学）
- How active citizen can make an impact to society? (昭和女子大学)
- 組織のビジョン・ミッションと原体験（アジア太平洋立命館大学 国際経営学部）
- 新しい国際協力の形（静岡県富士市）など

就労伴走事業

就労伴走事業は、日本に難民として逃れてきた人たちが、「人材」として企業で就職する道を作るために、彼らが仕事に就くまでの伴走をしています。※就労伴走事業は、株式会社キャリアストーリーとの提携業務の一環として行なっています。

就職事例

ヤマハ発動機株式会社、株式会社コミット、株式会社アーメンテナンス、ビープルポート株式会社、アダーワープジャパン株式会社

TOKIWA

難民たちが自分らしく「働く」ための最初の一歩をつくるためのシェアハウスです。住居人が就職をするまで、目標設定の機会、それを成し遂げるための「切磋琢磨できる仲間」と「伴走者」を提供します。

ユニークな難民の仲間と一緒に切磋琢磨中！

千葉ハウス

難民の方でも、日本の地域の文脈で安心して暮らせ、未来を築ける空間を目指すシェアハウスです。地域で開催しているお祭りや消防団などに積極的に参加しています。

企業研修

難民の講師が企業へと伺い、世界が未だ解けない難民問題と当事者の生の声を題材に、“グローバルリラティ”を体感する機会です。

経営者・人事担当者のみなさまへ

日本に逃れてきた難民たちの
人材としての強みと活かし方
をお伝えします。

ご興味のある方は、こちらの
フォームにご連絡ください。

